

TSUDOI

スタンダードプラン
週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Solana	 Avalanche	 Ondo
中堅	 Pump.fun	 Pyth Network	 Centrifuge
新規	 World Liberty Financial		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 9/1

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#6	 Solana	Layer1	¥16,689,938,837,138	¥30,848.08	4.72倍 (ETH比)	-3.29%
#17	 Avalanche	Layer1	¥1,560,946,967,652	¥3,696.51	50.49倍 (ETH比)	0.43%
#39	 Ondo	RWA	¥434,422,023,607	¥137.51	—	-1.4%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、-2.4%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)

とは TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Solana：SOL (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：ETF資金流入継続とAlpenglowで高速化

ETF（7/2開始）後も資金流入が継続し、8月末時点で約2.12億ドル規模まで拡大しています。

9/1にはREX-Osprey運営の「SSK Solana + Staking 現物ETF」が新方式へ移行し、『**二重課税**』リスクが解消され、実質リターンが改善して流入期待が強化されています。年末実装予定の大型アップデート「Alpenglow」により取引確定までの時間が短縮され、処理能力も向上することが見込まれ、技術優位と資金の追い風がエコシステム拡大と需給改善を後押ししています。

AIによる相場分析：SOL

現在のSOLは1枚あたり約202ドル（約29,700円）で推移しています。短期的には200ドル（約29,500円）を割り込むと195ドル（約28,400円）付近まで下落の可能性があります。この水準を守れば反発しやすく、210ドル（約30,900円）や220ドル（約32,400円）を目指す動きも考えられます。中長期では180ドル（約26,200円）を下回らない限り、上昇の流れは続きやすい状況です。

Avalanche : AVAX

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：トヨタとの協業の進展とネットワークコスト削減

9/2 Toyota Blockchain Labとの戦略的提携が進展し、「Mobility Orchestration Network (MON)」の構築が進んでいます。車両NFT化や自動運転ロボタクシー等の次世代モビリティ向けにAvalancheマルチチェーンとICMが活用されます。さらに8/22 GrayscaleがAvalanche Trust (AVAX) のETF転換が発表され承認期待が高まり、需給環境を押し上げています。

Ondo Finance : ONDO (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：トークン化した株式を売買可能な仕組みをリリース × 大手連携

9/3 米株・ETF100銘柄の24/7取引を実現できる「Ondo Global Markets」を開始。これは米国投資家（アジア太平洋、欧州、アフリカ、ラテンアメリカ等）向けに、法定ブローカーによって裏付けられたオンチェーン資産をリアルタイムで売買可能にすることも視野に入れた仕組みであり、年内には1,000種以上への拡張を視野に入れています。さらに、最近上場して話題のWorld Liberty Financial (WLFI) との提携により、WLFIの準拠型ステーブルコインである「USD1」のOndoプラットフォームへの統合が見込まれており、これによって Ondo Global Marketsの流動性と国際アクセス性の向上が期待されています。

AIによる相場分析：ONDO

ONDOは現在0.91ドル（約137円）前後で動いており、0.90ドル（約135円）付近が下支えとなっています。ここを割ると0.88ドル（約132円）まで下落する可能性があり、反対に0.93ドル（約140円）を超えると0.95ドル（約143円）、さらに1.00ドル（約150円）を目指す展開も期待されます。短期的には下げ止まりからの反発が意識される局面です。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 9/1

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数、RSIを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#62	 Pump.fun	DEX	¥222,487,913,879	¥0.63	10.22倍 (HYPE比)	30.93%
#84	 Pyth Network	Oracles	¥129,865,610,547	¥22.58	18.03倍 (LINK比)	28.51%
#200	 Centrifuge	RWA	¥29,118,629,265	¥51.56	14.92倍 (ONDO比)	-0.03%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、-2.4%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Pump.fun：PUMP

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：創作者インセンティブ改革×持続性強化

9/2 Pump.funは大型アップデート「Project Ascend」を発表しました。時価総額拡大に応じてクリエイター手数料を徐々に減少させるダイナミック手数料や、休眠プロジェクトのコミュニティ引継ぎ迅速化により、短命化や不正の抑止を図ります。優良クリエイターとユーザーの定着を促し、エコシステム価値向上に寄与しやすいです。一方で、制度の運用実効性は今後の継続的な改善が鍵になります。

Pyth Network : PYTH (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：米政府採用 × 公的データの実需

8/28 米商務省がGDPなどの経済指標をオンチェーン配信する基盤としてPythを起用しました(Chainlinkと並び採用)。政府機関による公式採用は技術の信頼性と知名度を大きく押し上げ、継続的な利用需要を生みます。今後は他国政府や大手企業への展開が進みやすくなったことで、採用が促進されネットワーク利用の増加を通じてPYTHの長期価値向上に寄与します。

AIによる相場分析：PYTH

PYTHは現在0.149ドル（約22円）付近で推移しており、0.145ドル（約21円）を割り込むと0.125ドル（約19円）や0.10ドル（約15円）まで下落の恐れがあります。一方で0.160ドル（約24円）を超えると0.18ドル（約27円）や0.20ドル（約30円）まで反発が期待できます。

Centrifuge : CFG (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Aave連携RWA貸出市場開始 × 機関需要

8/27 CentrifugeはAave Labsと提携し、RWA貸出市場「Horizon」を開始しました。国債やAAA級CLO(企業向けローン)に裏付けられたファンドのトークン（JTRSY/JAAA）をAaveに預けると、その価値を担保にステーブルコインを借りられます。つまり「安全性の高い伝統資産を使って、オンチェーンで資金調達できる」仕組みが整ったということです。これにより機関投資家の利用が進み、預かり資産（TVL）や手数料収益の増加、RWA分野でのCentrifugeの地位向上が期待できます。

AIによる相場分析：CFG

現在のCFGは0.32ドル（約47円）付近で下げ止まりを試していますが、割れると0.30ドル（約45円）まで下落の可能性があります。一方で0.34ドル（約50円）を超えられれば0.36ドル（約54円）方向への回復も見込め、短期的には売られすぎで反発の余地があります。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 9/1

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング250位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#31	 World Liberty Financial	Payments	¥666,050,934,606	¥26.99	37.68倍 (XRP比)	—



World Liberty Financial : WLF (GOOD) 🍊👍

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：トークン上場・大口購入 × アンロック・買い戻し提案などが次々話題に

9/1 WLFはトークンのローンチ（上場）と同時にロック解除が始まり、配布済み50億枚のうち20%が解禁されました。流動性は増えましたが、短期の売り圧力で価格は調整しました。9/2、ジャスティン・サン氏はTGE解禁の6億WLFを受領（Arkham/HTX分類）し、「売らない」意向とTron上USD1の+2億ドル拡大方針を表明しました。併せて、WLFチーム（ガバナンス提案）が流動性プール手数料を原資とする買い戻し・バーン案を提示し、循環供給の削減を通じた長期価値の底上げを狙っています。中長期では、USD1のマルチチェーン展開と主要DeFiへの統合、買い戻しの実効性、透明なガバナンス運用が成長ドライバーになりえます。一方、中央集権化や規制・インサイダー懸念はリスクで、運用の透明性が評価の分水嶺になります。

AIによる相場分析：WLF

WLFは上場後に下落し、現在は0.18ドル（約27円）付近で推移しています。短期では0.165ドル（約24円）が下支え、0.20ドル（約29円）を超えれば0.22～0.25ドル（約32～37円）を目指す可能性がありますが、割れると0.15ドル（約22円）まで下落余地があるため注意が必要です。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudoi-platform.co.jp/>